

栃木県養護教育研究会・会報

か が や き

第47号

平成29年 6月27日

発行者 栃木県養護教育研究会
 会長 増渕 正典
 編集者 栃木県養護教育研究会事務局



..蘇った至宝「陽明門」

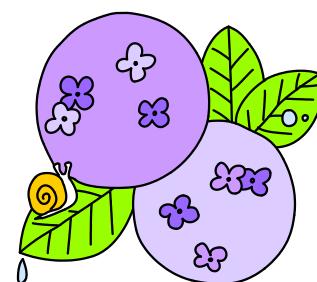
栃木県養護教育研究会
 会長 増渕 正典

「かがやき47号」が委員の先生方のお陰で発刊されることに感謝申し上げますと共に、日頃から、本研究会の充実発展にご尽力くださり、多くの成果を上げておられます会員の先生方に、心からお礼申し上げます。

学校保健安全法施行規則が改正され、運動器検診が開始されました。現代の子どもたちは運動不足による体力・運動能力の低下、運動のし過ぎによるスポーツ障害の二極化した問題、また、何らかの運動器疾患・障害を有する子ども達が1～2割いると推定され、運動器の健康状態の把握や運動器疾患・障害の早期発見が重要であるとして、健康診断項目に運動器検診が加わりました。実際の検診においては家庭での保健調査票、養護教諭による日常の観察、担任や部活動顧問との連携による情報を整理していただくとともに、検診の結果を元に専門機関での受診や運動指導に生かしていただければと思います。

さて、2017年3月10日、世界遺産・日光東照宮の国宝「陽明門」が約40年ぶりの大修理を終え、色彩鮮やかに蘇った至宝が一般公開されました。陽明門の修理は日光東照宮の「平成の大修理」の目玉として、2013年から4年間かけて行われ、専門技術者約30人が携わり、江戸時代から受け継がれる伝統技術を駆使し12億円を投じて行われました。私も翌11日早速日光に足を運び絢爛豪華な「陽明門」と対面してきました。全面に施された500体を超える極彩色の彫刻や純白の珞粉塗りの柱、黒漆塗りの屋根。豪華絢爛な陽明門はいつまで見ても見飽きないことから、別名「日暮の門」ともよばれ、日本で最も美しい門の一つとされています。最高の物を見ることができたという喜びを感じながらいろいろな角度から眺めるとともに、確かな記憶としてデジタル一眼レフカメラに収めてきました。また、「見ざる・聞かざる・言わざる」で有名な三猿の彫刻も同時に修復され目を楽しませてくれました。会員の皆様、「平成の大修理」を終え、新たな姿に蘇った世界に誇る日光の社寺をこの機会にぜひご覧になってはいかがでしょうか。

結びに、日々多くの児童生徒の心と体を見守り、学校保健活動推進の中核的役割を果たしている養護教諭は大変多忙であります。忙しさのあまりご自身の健康管理が後回しにならぬよう、健康には十分留意されますようお願い申し上げます。



全国養護教諭連絡協議会「第22回研究協議会」での発表を終えて

栃木県立大田原高等学校 渡部 るみ子

今年度のフォーラムの主題は「子供たちの未来を支える健康診断を目指して」でした。本校では健康診断を「心身の健康の保持増進」及び「基本的な生活習慣確立」の機会ととらえ、全職員で取り組み推進しています。その中で、「私＝保健室」と意識し、あらゆる場面で積極的に生徒に関わってきました。その結果、健康診断の受診率、治療率が向上し、それに伴って出席率にも変化が見られたことから、今回の実践発表の機会をいただきました。改めてこれまでの生徒との関わりを振り返りデータ等を見直すことで、更に学ぶことや養護教諭としての可能性も見出すことができました。

当日は、全国から1,000名以上の養護教諭が参加されていて、会場からの熱気が壇上まで伝わってきました。自分にとっては初めての発表体験だったので、緊張しすぎて慌ててしまい、シナリオのない質疑や意見交換に、的確にお答えできたかどうか不安でしたが、今は無事大役を終えることができ、ほっとしています。また、遠く広島県、愛知県、富山県から発表にいらした先生方と短い時間でしたがお話をすることができました。特に今年度は発表内容も、話題も「運動器検診」についてが中心で、同様の迷いや不安を抱えている仲間が全国にいて、より良い健康診断を実施するために試行錯誤しているのだと肌で感じました。本当に貴重な経験をすることができました。残念だったのは、打ち合わせの時間が入ってしまい、「神の手を持つ名医」といわれている、天野篤教授の特別講演を聞けなかったことです。最後になりましたが、発表に当たりお力添えをいただきました先生方にこの場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました。



.....

地区だより（足利地区）

足利市立毛野小学校 村田 敬子

足利地区は小学校22名、中学校14名、高校11名、合計47名の会員で構成されています。小中学校部会では年に3回の研修会をもち、指導主事や学校保健会長の指導をいただきながら、会員相互の連携を図ると共に職務のスムーズな運営と資質向上のために研修を進めています。スポーツ振興センター災害報告状況の集計と定期健康診断集計は継続研究として取り組んでいます。また、例年ブロックごとに2年間で研究を進めています。足利市全体のテーマは「小中学校との連携を図った健康教育」で、27・28年度は各ブロックが下記のテーマで研究に取り組みました。

- ・北ブロック「学校保健委員会開催に向けての取組」
- ・東ブロック「歯と口に関する実態調査」
- ・南ブロック「地域の健康課題を解決するための学校保健委員会の実践」
- ・西ブロック「基本的な生活習慣の定着を目指して」



各ブロックの研究については、研修会で研究内容について発表を行いました

高校・特別支援学校部会では27年度は、28年度6月の春季研修会での発表に向けての研修に取り組みました。また、安足健康福祉センターの保健師と連携しての研修会を実施しました。

今後も、協力し合い有意義な研修になるよう取り組み、会員同士がお互いに高めあえる部会にしていきたいと思えます。

《常任委員を終えて》

佐野市立吉水小学校 田中 美代子

平成27・28年度の2年間、常任委員を務めさせていただきました。地区の代表として緊張の中、臨んでまいりました。その中で、本部役員の先生方が本会のために熱心に企画・運営してくださっている様子を知ることができ、たいへん勉強になりました。また、よりよい研修や活動ができるようにと細やかな配慮や温かい心遣いにも触れることができました。春・秋季の研修会やレベルアップ研修会等に参加する私たちが、常にニーズに即した研修ができたのも本部役員の先生方のご尽力のおかげです。そして、この委員会では各地区の活動の様子を情報交換したり、先生方との話し合いの中から私たちの意見も取り入れ、反映させていただいたりすることができました。



この委員会に参加することで、小・中・高校間での連携の重要性や養護教諭として繋がり的重要性を感じることができました。良い機会をいただき、本当にありがとうございました。

《しろたえ編集委員を終えて》

栃木市立岩舟中学校 生井 克子

今までは「しろたえ」を手にする会員の一人でしたが、2年間「しろたえ」編集に携わらせていただく機会をいただき、多くの先生方の温かい気持ちと協力に支えられて私たち会員の手元に冊子が届いていることを知ることができました。実際に原稿を依頼する立場になり、特に1学期の多忙の中、原稿依頼を快く引き受けていただいたことで、さらに温かさに触れることができました。

また、初めての経験で何をするのか不安な気持ちでいっぱいでしたが、発行前の校正作業等も含め編集を進めていくなかで事務局の先生方の細やかなご苦勞を感じました。さらに他地区、校種、規模が異なる先生方との情報交換等から多くのことを学ぶ機会にもなり、日々の勤務から解放されるひとときでもありました。そして、一緒に編集委員の仕事をさせていただいた先生方、会員の皆様の協力により編集委員の任期を終えることができたことに感謝しています。2年間ありがとうございました。

《調査研究委員を終えて》

上三川町立坂上小学 吉田 恵美子

平成27・28年度の2年間、「養護教諭のヒヤリ・ハット」の調査・研究に関わらせていただきました。また、28年度は5年ぶりの全県調査も実施され、会員の皆様には、「ヒヤリ・ハット」に関するアンケートへの回答や資料の提供、全県調査への回答とたくさんのご協力をいただき、ありがとうございました。

役員先生方や、校種や学校規模の異なる各地区代表の先生方と情報を交換し合った委員会はとても有意義な時間でした。また、研究を進めていく中で自分自身の事例を思い出し、再考することもできました。



細やかなご配慮で研究の舵取りをしてくださった栃木県養護教育研究会の調査研究担当役員先生方、大変お世話になりました。この2年間で得たことや学んだことを自分自身の中でさらに発展させ、日々の執務に生かしていきたいと感じています。

《レベルアップ研修会のお知らせ》

日時 8月17日(木) 会場 作新学院大学 参加費 1,000円程度
講師 加藤史子氏(メンタルトレーナー)・土屋佳子氏(SSW)

~~~~みなさんの参加をお待ちしています。~~~~



## 役員退任に当たって

宇都宮市立平石中央小学校 川村 孝子

☆「一緒に仕事をしましょう」と誘いを受け、自分に務まるのか大きな不安を抱えてはじまった本会の仕事でした。研修会等の開催通知の発送や会議の記録の仕事をした2年間。春・秋の研修会の運営に関わった4年間。仕事をさせていただいた6年間は緊張の日々でしたが、同時に貴重な体験でもありました。そしてたくさんの方のことを学ばせていただきました。力不足の私ですが、多くの先生方に支えられ、助けられて仕事ができたと感謝の気持ちでいっぱいです。本当にお世話になり、ありがとうございました。最後に本研究会のますますの発展をお祈りいたします。

宇都宮市立泉が丘小学校 江田みどり

☆本会事務局として、6年間会計をさせていただきました。本活動を通じ、養護教諭として、きちんとした組織に守られ育まれてきていたことに、遅まきながら気づくことができました。また、県下の素晴らしい先生方との出会いと活動を知ることができ、勉強させていただく機会ともなりました。ありがとうございました。これまでのご恩返しのつもりで、微力ながらお手伝いさせていただきましたが、何分力足らずでご迷惑をおかけしたこともあったと思います。退会に免じてご容赦いただきたく存じます。本会のますますの発展をお祈り申し上げます。

日光市立猪倉小学校 辻 真理

☆平成23年度から6年間、主に調査研究とホームページを担当させていただきました。知識も経験も不足しており、ご迷惑をおかけすることばかりでした。多くの先生方にお力を貸していただき、また、温かい励ましのことばをかけていただき、何とか務めさせていただくことができました。

一つのものを作り上げる大変さ、新しいことにチャレンジする前向きな気持ち、先輩方の偉大なる足跡、会員の先生方の執務に対する真摯な思い、校種や規模の異なる先生方との出会い、養護教諭の底力、たくさんの方に触れ、また、たくさんの方々と出会えたことは、大切な宝物です。大変貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。お世話になりました。

さくら市立上松山小学校 渡辺 康子

☆2期4年間、微力ではありましたが何とか務めさせていただきました。それまでの長い間、当たり前のように参加していた研修会でしたが、その裏側には、役員の方の大きな力があつたということに気づき、申し訳なさを感じつつ、少しでも恩返しができるかと務めた4年間でした。しかし何しろスキルが足りず、担当したレベルアップ研修会では、申し込みや受講決定の通信方法を検討しながら進めるような状況で、多くの方にご迷惑をおかけしてしまいました。苦労もあつた4年間でしたが、それ以上に得るものは大きかったと感じています。お世話になった先生方、本当にありがとうございました。

栃木県立栃木工業高等学校 櫻井 絹子

☆4年間、調査研究担当として、地区役員の方と一緒に仕事をさせていただきました。研究テーマに合わせいろいろな方向から調べ、知恵を絞り、栃木県内の養護教諭の方々のアイデアに感嘆し、と様々な経験をさせていただきました。養護教諭の職務に関する調査については、アンケートのまとめ方等、パソコンの活用方法を含めた今後の課題が見えたとき、専門的な知識のある方がたくさんいる学校に異動となり、物事は良い方向に向かっていくのを実感しました。栃木県の素晴らしい養護教諭仲間と繋がりができ、大変感謝しています。ありがとうございました。





